

日本海藻協会ニュース

2010年3月15日

・協会事務局から

1. 書面理事会の結果報告

先日行われた書面理事会の結果を報告します。理事13名のうち12名から返信があり、すべて賛成票でした。従って、2009年度事業報告並びに収支決算、2010年度事業計画並びに収支予算は、原案通り承認されました。詳細は会報「海藻資源」No.22(6月発行予定)に掲載の予定です。

2. 2010年度会費の納入(お願い)

すでにE-mailで別途お願いしましたが、2010年度の会費(正会員30,000円、準会員10,000円)をまだ納入されていない会員は至急納入してください。

・海藻関連ニュース

1. 2009年てんぐさ概況

森田商店がまとめた2009年(2009年4月~12月)のてんぐさ概況を添付しますのでご覧ください。

2. 日本藻類学会第34回大会

日本藻類学会第34回大会が2010年3月19-22日に筑波大学(茨城県つくば市)で開催されます。詳細は「藻類」58巻1号(2010年3月発行)または<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsp/taikai34/taikai-34.html>をご覧ください。

3. 第15回国際食品素材/添加物展・会議&第8回ヘルスフードエキスポ

(株)食品科学新聞社主催・日本イージェイケイ(株)共催の第15回国際食品素材/添加物展・会議&第8回ヘルスフードエキスポ(iffa JAPAN/HFE JAPAN 2010)が2010年5月19-21日に東京ビッグサイト西1・2ホール(東京・有明)で開催されます。詳細は<http://www.iffajapan.com/>をご覧ください。

4. 第13回マリンバイオテクノロジー学会大会

第13回マリンバイオテクノロジー学会大会が2010年5月29日 - 30日に広島大学東広島キャンパス生物生産学部C棟(東広島市)で開催されます。詳細は <http://www.soc.nii.ac.jp/jsmb/> をご覧ください。

5. 第5回ヨーロッパ藻類学会議

ヨーロッパ藻類学会連合 (European Union of Phycological Societies) 主催の第5回ヨーロッパ藻類学会議 (The 5th European Phycological Congress, EPC5) が "Exploring the Phycocosmos: A European Perspective" をテーマに2011年9月4 - 9日にギリシャのロードス島 (Rhodos Palace Hotel) で開催されます。詳細はウェブサイト www.epcv.gr をご覧ください。

. カレンダー

- 2010.3.19-22. 日本藻類学会第34回大会 (つくば市、筑波大学)
- 2010.3.26. 第26回マリントキシシン研究会 (藤沢市、日大・生物資源科学部)
(No.23)
- 2010.3.26. 第47回水産物エキス研究会 (藤沢市、日大・生物資源科学部)
(No.23)
- 2010.3.26-30. 平成22年度日本水産学会春季大会 (藤沢市、日大・生物資源科学部) (No.23)
- 2010.5.19-21. 第15回国際食品素材/添加物展・会議&第8回ヘルスフードエキスポ (東京・有明、東京ビッグサイト西1・2ホール)
- 2010.5.29-30. 第13回マリンバイオテクノロジー学会大会 (東広島市、広島大学・生物生産学部)
- 2011.9.4-9. 第5回ヨーロッパ藻類学会議 (ギリシャ、ロードス島)

. 新刊書・新製品案内

1. 工藤盛徳・高岡則夫・稲野達郎・小磯 潮 (2009): 改訂版 加工海苔入門 (食品知識ミニブックスシリーズ). 日本食糧新聞社. 170頁. 定価 1,200円 (税別).

. 海藻 Q & A

Q24 - "ドゥルー祭" について教えてください。

A - イギリスの海藻学者キャスリーン・メアリー・ドゥルー女史 (Cathleen Mary Drew Baker) のノリの糸状体に関する研究業績を記念して、毎年4月14日に熊本県宇土市の住吉神社境内にある記念碑前で行われます。

ドゥルー女史は1901年ランカシャーに生まれ、マンチェスター大学を卒業、同大学の講師を2年間勤めたのち米国カリフォルニア大学で2年間海藻の研究を行い、帰国して母校工学部のベイカー教授と結婚、1939年にはDoctor of Scienceの学位を受けました。女史は主に紅藻類の発生と細胞学に関するすぐれた論文を多数発表しています。1952年、英国藻類学会の創立に努力し、初代会長となりました。日本のノリ養殖との関連では、紅藻アマノリ類の糸状体の発見（1949）が特筆すべきものです。

日本のノリ養殖産業は、人工採苗技術が確立されるまでは自然任せの孢子着生に頼っていました。ドゥルー女史によってアマノリ属の一種 *Porphyra umbilicalis* の果孢子が海底の貝殻に潜り込み糸状体（それまで糸状体は別種の海藻と見なされ、*Conchocelis rosea* という名がつけられていた）の形で夏季を過ごすことが発見され、ノリの一生（生活史）が明らかになりました。このことを女史と親交のあった九州大学の瀬川宗吉教授から聞いた熊本県水産試験場の太田扶桑男技師は、研究を重ねた末に日本のノリで人工採苗（貝殻に果孢子を潜らせて室内培養した糸状体から放出される殻孢子をノリ網に着生させる技術）に成功しました。この成功は、瀬川教授を通じてドゥルー女史に伝えられ、日本の海苔漁民のために喜びあったとのことでした。瀬川教授は日本のノリの人工採苗を女史に見せたいと思っていましたが、女史は1957年9月に56歳の若さで突然亡くなりました。教授は大変悲しみ、「日本の海苔養殖業に大きな進歩をもたらした偉大な業績を記念するために是非女史の記念碑を造りたい」と言っていました。1960年に瀬川教授も56歳で突然逝去されました。

ドゥルー女史を恩人と称える海苔漁民は瀬川教授の遺志を受け継ぎ、全国の海苔関係者から浄財を募り、日本一のノリ漁場である有明海が一望できる宇土市住吉町の海岸に面する小高い丘（住吉神社敷地内）に女史の顕彰碑を建立しました。その除幕式は1963年4月14日に行われ、女史の夫ライト・ベイカー氏も漁民の行為に感動して出席し、女史が大学から学位を授与されたことを証するガウンと帽子を漁民に提供しました。これ以来、海苔関係者は毎年4月14日を“ドゥルー祭”と称して顕彰を続けています。

（主として、ドゥルー女史生誕100年記念事業実行委員会，2001，「キャスリーン・メアリー・ドゥルー・ベイカー女史」から引用）

これまでのQ&A

- Q1 - 「海藻」と「海草」は同じですか。（No.2 に掲載）
- Q2 - ノリの「色落ち」って何ですか。（No.2 に掲載）
- Q3 - 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか？（No.3 に掲載）

- Q4 - コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか？ 焼き海苔はなぜ緑色か (No.3 に掲載)
- Q5 - 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか？ (No.3 に掲載)
- Q6 - テングサという種名の海藻はないのですか？ (No.4 に掲載)
- Q7 - 「うみぶどう」は海藻の名前ですか？ (No.5 に掲載)
- Q8 - 「キラー海藻」って何？ (No.6 に掲載)
- Q9 - 日本の海苔は輸出されていますか？ (No.6 に掲載)
- Q10 - 「髪菜 (はっさい)」は海藻ですか？ (No.7 に掲載)
- Q11 - 中国で栽培 (養殖) されているノリは日本のノリと同じですか？ (No.8 に掲載)
- Q12 - 「岩のり」と「青のり」は違うものですか？ (No.9 に掲載)
- Q13 - 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？ (No.10 に掲載)
- Q14 - 「鰯浦こんぶ」はコンブですか？ (No.11 に掲載)
- Q15 - 日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか？ (No.12 に掲載)
- Q16 - 「磯焼け」って何？ (No.13 に掲載)
- Q17 - 「寒天」と「ところてん (心太)」はどう違うのですか？ (No.14 に掲載)
- Q18 - 「はんば」って何？ (No.15 に掲載)
- Q19 - 「みずこんぶ」(水こんぶ) とは？ (No.17 に掲載)
- Q20 - わかめ(若布)の製品にはどのようなものがありますか？ (No.18 に掲載)
- Q21 - 有毒な海藻はありますか？ (No.19 に掲載)
- Q22 - 「とろろこんぶ」(商品名)はトコロコンブ(種名)からつくられますか？ (No.21 に掲載)
- Q23 - カワノリは淡水産ですか？ (No.22 に掲載)
- Q24 - 「のりの佃煮」の原料海藻は何ですか？ (No.23 に掲載)

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回(毎月15日付で)発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F
マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 (arugay@mx4.ttcn.ne.jp)